

**事例の区分**

事業区分	工業・住宅団地等の土地造成（土地区画整理等）事業
配慮概要	動植物、自然との触れ合い

**事業の概要**

事業名	八王子みなみ野シテイ
実施場所	東京都八王子市
事業主体	都市基盤整備公団
実施期間	昭和63年度～
全体事業費	-
事業規模等	面積：394ha、計画人口：28,000人
事業概要	八王子みなみ野シテイは、東京都心から西方40km、八王子市中心部の南方2km～5kmに位置する。 「環境共生都市」を街づくりのコンセプトの一つとし、「水系の維持、再生」、「生態系の維持、再生」を基軸とし、丘陵地・里山環境の保全・再生を手がかりとしながら、自然と調和した、自然度の高いまちづくりを進めている。

**環境配慮の内容**

## 自然とのふれあい

- ・「環境共生都市」を街づくりのコンセプトの一つとし、「水系の維持、再生」、「生態系の維持、再生」を基軸とし、自然度の高いまちづくりを進めるための整備手法を体系づけている。

## ビオトープネットワーク

- ・地形特性により、地区を谷、尾根、里山、川、街の5つのゾーンに分類し、各ゾーンが互いに関連しあいながら一つのネットワークを形成できるように、ゾーンごとにテーマを設定している。

## 動物（ホタル）

- ・「サンクチュアリの形成」をテーマとする谷では、水路と棚田から成るホタル沢ビオトープを創出、平成6～8年の間、人工飼育のヘイケボタルとゲンジボタルの幼虫を放流した。

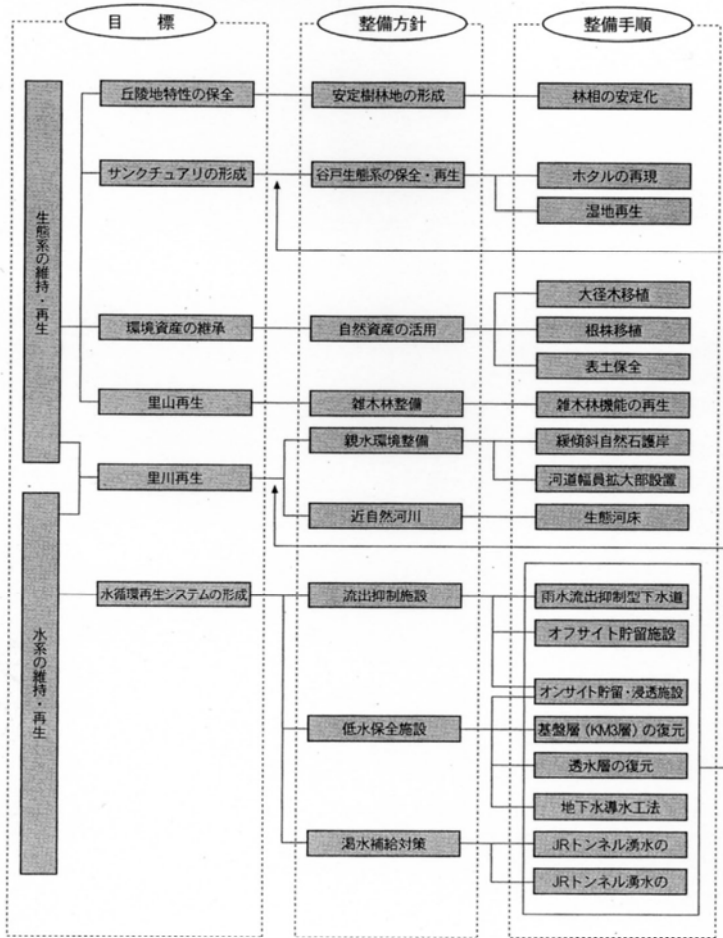
**環境配慮の結果**

-

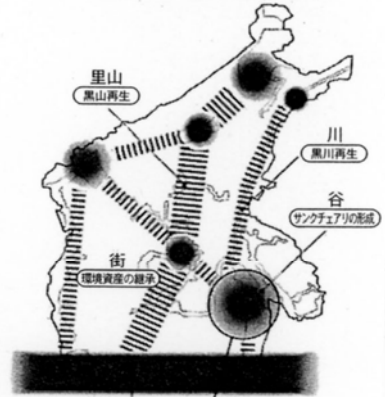
**今後の留意事項等**

- ・水路、棚田、水源となる池での水質環境のモニタリング調査を実施している。
- ・ホタルの食物となるカワニナの生息数が少ないため、カワニナの食物となる落ち葉の供給（移植）について検討中。

## 街づくりの整備体系—環境共生都市



## ビオトープ・ネットワーク



尾根  
丘陵地特性の保全

**ホタル沢ビオトープ**  
棚田と里山



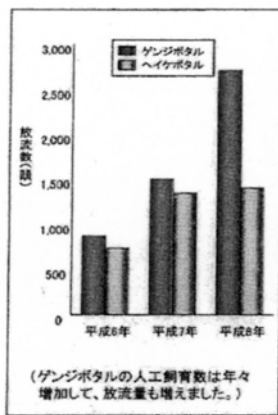
ホタル水路



棚田

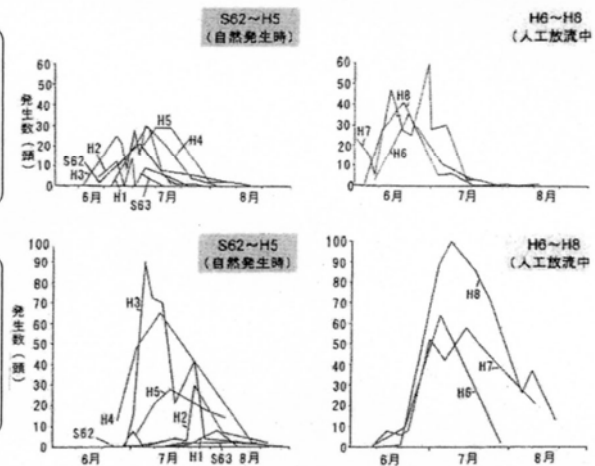
### ホタルのモニタリング結果

昭和62年～平成5年までの自然発生時と、平成6～8年の人工放流時のホタル発生量を比較すると、放流時のホタルの発生量が大きく増えています。



ゲンジボタル発生状況

ヘイケボタル発生状況



出典

「公共事業環境配慮ガイド 事例No.35」 宮城県